

山 岳 遭 難 発 生 状 況

(令和7年1月1日～令和7年8月24日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区 分	発生件数	死 者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令 和 7 年	254	32	4	122	129	287
令 和 6 年	224	36	1	98	112	247
前 年 同 期 比	30	-4	3	24	17	40

2 山域別発生状況

区 分		件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
北 ア	槍穂高	49	19.3%	8	0	22	25	55
	後立山	74	29.1%	7	1	35	46	89
	その他	39	15.4%	0	0	27	18	45
計		162	63.8%	15	1	84	89	189
中央アルプス		16	6.3%	4	1	5	8	18
南アルプス		7	2.8%	0	1	6	0	7
八ヶ岳連峰		24	9.4%	3	0	13	9	25
その他の山岳		45	17.7%	10	1	14	23	48
計		254		32	4	122	129	287

3 態様別発生状況

区 分	件 数	件数比率	死 者	行方不明	負 傷 者	無事救出	遭難者計
転・滑落	71	28.0%	19	0	54	0	73
転 倒	57	22.4%	1	0	56	0	57
病 気	19	7.5%	3	0	0	16	19
道 迷 い	28	11.0%	0	0	0	44	44
落 石	7	2.8%	0	0	7	0	7
雪 崩	2	0.8%	1	0	1	1	3
落 雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	36	14.2%	1	0	0	39	40
不明・他	34	13.4%	7	4	4	29	44
計	254		32	4	122	129	287

4 男女別・年齢別比率

区 分	男 性					(人) 比率	女 性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
1 9 歳以下	0	0	0	5	5	37 18.9%	0	0	1	0	1	18 19.8%	6	55 19.2%
2 0 代	1	0	3	14	18		0	0	1	5	6		24	
3 0 代	3	1	3	7	14		0	0	3	8	11		25	
4 0 代	4	1	11	11	27	74 37.8%	1	0	12	3	16	39 42.9%	43	113 39.4%
5 0 代	6	0	18	23	47	85 43.4%	1	0	16	6	23	34 37.4%	70	119 41.5%
6 0 代	5	1	19	18	43		0	0	15	7	22		65	
7 0 以上	11	1	12	18	42		0	0	8	4	12		54	
計	30	4	66	96	196		2	0	56	33	91		287	
比 率	68.3%						31.7%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（8/18～8/24）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
8月18日	北アルプス 烏帽子岳	男	46	無事救出	発病	2人パーティでブナ立尾根に登山中、発病により、行動不能
8月18日	御嶽山	男	74	無事救出	疲労	単独で御嶽山から下山中、疲労により、行動不能
8月18日	南アルプス 甲斐駒ヶ岳	女	59	負傷	滑落	2人パーティで甲斐駒ヶ岳から北沢峠に向けて下山中、滑落、負傷
8月18日	ハケ岳連峰 天狗岳	男	84	無事救出	疲労	2人パーティで天狗岳に向けて登山中、疲労により、行動不能
8月20日	北アルプス 布引山	男	56	負傷	滑落	2人パーティで鹿島槍ヶ岳から冷乗越方面に向けて縦走中、滑落、負傷
8月20日	中央アルプス 宝剣岳	男	57	無事救出	道迷い	2人パーティでしらび平から千畳敷に向けて、中御所谷に登山中、道に迷い、行動不能
		男	22	無事救出	道迷い	
8月20日	北アルプス 涸沢	男	78	無事救出	道迷い	単独で奥穂高岳から涸沢に向けて下山中、日没により道に迷い、行動不能
8月20日	北アルプス 岳沢	男	74	無事救出	道迷い	単独で岳沢から上高地に向けて下山中、道に迷い、行動不能
8月21日	北アルプス 白馬岳	女	61	負傷	転倒	3人パーティで白馬岳から梅池に向けて下山中、三国境付近で転倒、負傷
8月21日	北アルプス 奥穂高岳	男	80	負傷	滑落	単独で奥穂高岳からザイテングラートを下山中、滑落、負傷
8月22日	ハケ岳連峰 硫黄岳	男	8	無事救出	発病	3人パーティで硫黄岳付近の山小屋に宿泊中、発病により、行動不能
8月22日	南アルプス 仙丈ヶ岳	男	43	負傷	滑落	2人パーティで仙丈ヶ岳から北沢峠に向けて下山中、滑落、負傷
8月22日	北アルプス 前穂高岳	男	51	負傷	転倒	2人パーティで重太郎新道を上高地に向けて下山中、転倒、負傷
						上記遭難現場写真
8月22日	北アルプス 槍ヶ岳	男	54	無事救出	疲労	2人パーティで槍ヶ岳付近の山小屋に滞在中、疲労により、行動不能
8月22日	ハケ岳連峰 硫黄岳	男	66	無事救出	発病	2人パーティで硫黄岳付近の山小屋に滞在中、体調不良により、行動不能

8月23日	北アルプス 槍ヶ岳	女	49	負傷	滑落	2人パーティで槍ヶ岳に向けて北鎌尾根に登山中、バランスを崩して滑落、負傷
						上記遭難現場写真
8月23日	北アルプス 唐松岳	女	55	負傷	転倒	2人パーティで唐松岳に入山し、山頂付近で転倒、負傷
8月23日	ハケ岳連峰 赤岳	男	52	負傷	転倒	3人パーティで赤岳付近の山小屋で滞在中、転倒、負傷
8月23日	北アルプス 唐松岳	男	70	無事救出	疲労	8人パーティで唐松岳に向けて八方尾根に登山中、疲労により、行動不能
8月24日	中央アルプス 越百山	男	82	無事救出	疲労	17人パーティで千畳敷から越百岳に向けて登山中、疲労により、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週は、**20件21人の遭難**が発生し、**転倒**や**滑落**による負傷、**疲労**や**病気**による行動不能遭難が多発しました。

転倒や滑落による遭難は、遭難が起こる前に、小さなスリップや転倒を繰り返していたり、体調不良を自覚していたケースが少なくありません。こうした「ヒヤリ」や「ハッ」とした体験は、重大な遭難の前触れであることも多いため、その時点で一度立ち止まり、気持ちを引き締め直す、こまめに休憩を取る、予定の計画を再検討するといった判断が遭難防止に繋がります。

また、北アルプスの涸沢や岳沢で発生した遭難は、夜間行動中に装備不足（ヘッドライト）と疲労により遭難した事案で、救助隊が地上から出動し、幸いにも無事に救助することができましたが、夜間に行動不能となれば、救助を待つ間に体温を急激に奪われ、低体温症によって命を落とす危険性もあります。

日帰り登山であっても、予期せぬトラブルを想定し、ヘッドライトや防寒着、ビバーク装備を必ず携行するとともに、日没間際の行動を避け、早出早着に努めましょう。

8月も、残すところ1週間となりましたが、今年の夏山期間中は、先週までに**127件**の山岳遭難が発生し、昨年の116件を既に超えてしまいました。今週登山を計画されている方は、自分自身の登山計画や装備品を見直しを行い、「**無事下山**」を合言葉に安全登山を心掛けましょう。